

2013年(平成25年)12月16日(月曜日)

物流ニッポン LOGISTICS NIPPON

東京で出張経営ゼミ

アサヒロジス会長が講演

物流研



3PL事業を展開した経緯を説明する横塚会長

NPO(非営利組織)法人の日本物流研究グループ(堀田佳秀理事長)は12日、東京都で出張経営セミナーを開催し、アサヒロジステイクス(横塚元樹社長、埼玉県嵐山町)の横塚正秋会長が講演した。

日本物流研究グループは全国の若手経営者が組織したもので、中部地方を中心に活動している。出張経営セミナーは「あの人に会いに行こう」のテーマで行わ

れており、中部圏以外で開くのは今回が初めて。阿部光記副理事長は「今

年度はリーダーシップをテーマに活動しているが、横塚会長には企業の規模とリーダーの成長について話してもらおう。リーダーの器以上に、組織は成長できないのか、それぞれの会社に置き換えて学んで欲しい」と呼び掛けた。

横塚氏は「リーダーの成長と企業規模の相関関係」と題して、原乳輸送を皮切りに、3温度帯輸送から食品物流の3PL(サードパーティー・ロジステイク

ス)事業を展開してきた経緯を説明。

また、30代で迎えた資金不足による倒産危機、そこから徹底した計数管理で顧客満足と社員満足の向上に努めたことを話した。

(佐々木 健)